

2026年度 星槎道都大学 入学試験問題

[一般選抜]

一般入試 B日程

政治・経済

全学部 全学科

◎問題用紙 2枚
◎解答用紙 1枚

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この中を見てはいけません。
- 2 印刷の不鮮明なものについては挙手をし、監督者へ教えてください。
- 3 解答欄以外にも記入する箇所があります。(氏名・志望学科・受験番号等) 忘れずに記入してください。

政治・経済

第1問 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

a 日本国憲法は、国民主権、b 基本的人権の尊重、平和主義を三大原理としている。国民主権の採用により、天皇の地位は「日本国および日本国民統合の象徴」とされた。象徴としての天皇は、儀礼的な（ 1 ）のみを行い、政治に関する権能を有しない。

基本的人権に関して日本国憲法は、第13条の（ 2 ）を基本原理として保障している。c 大日本帝国憲法が立法によって「臣民の権利」を制限できるという考えであったのに対して、日本国憲法では（ 3 ）の思想が採用され、法律の内容が人権を侵すものであってはならないという原則が明確にされている。

平和主義に関しては、過去の戦争の反省に立ち恒久の平和を念願するという考えから、前文において（ 4 ）を保障している。また、第9条では国権の発動たる（ 5 ）を国際紛争を解決する手段として永久に放棄している。

d 戦後の日本の安全保障については、1950年の朝鮮戦争の勃発をきっかけに同年、（ 6 ）が創設され1954年に自衛隊へと改められた。戦前の日本軍が政治の意向を無視した行動をとったという反省から、自衛隊の活動、予算、組織については内閣や国会が決定する。このような職業軍人ではない文民が、軍事的組織に対する決定権をもつ仕組みのことを（ 7 ）という。また、1951年に（ 8 ）を締結し、米軍の駐留と基地使用を認めている。

問1 文中の（ 1 ）～（ 8 ）に当てはまる語句を語群から選び、答えなさい。

【語群】

内閣不信任決議	国事行為	公共の福祉	統帥権の独立	平和国家宣言
集団的自衛権	警察予備隊	人間宣言	自然権	法の下での平等
国家安全保障会議	防衛省	文民統制	個人の尊重	社会契約
日米安全保障条約	平和的生存権	抵抗権	平和維持活動	MSA協定
保安隊	徴兵制	戦争	サンフランシスコ平和条約	

問2 下線部 a について、最高法規である憲法の改正は、法律の改正と比較して厳格な手続きが定められているが、このような憲法を何とよぶか答えなさい。

問3 下線部 a について、以下は日本国憲法の一文である。□内にはすべて同じ単語が入るが、その単語を答えなさい。

「国政は、□の厳粛な信託によるものであつて、その権威は□に由来し、その権力は□の代表者がこれを行使し、その福利は□がこれを享受する。」

問4 下線部 b について、日本国憲法第11条と第97条は基本的人権をどのような権利として宣言しているか、答えなさい。

問5 下線部 c について、大日本帝国憲法と日本国憲法における議会の憲法上の地位の違いを簡潔に説明しなさい。

問6 下線部 d について、非核三原則とは何か、簡潔に答えなさい。

第2問 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

市場経済では「どれくらいの量の財をどれくらいの価格で販売するか」を決定するのは市場である。市場では消費者が「需要」を形成し、生産者が「供給」を形成する。縦軸に価格、横軸に（ 1 ）を取って消費者の行動を図示する場合、消費者は同じ品質であれば価格が高いものよりも安いものをたくさん購入したいと考えるので、需要は右下がりの曲線を描く。これを a 需要曲線 とよぶ。他方で生産者は、価格が安いものをたくさん生産するよりも価格が高いものを多く生産したいと考えるため、生産は右上がりの曲線を描く。これを（ 2 ）とよぶ。これらを同一の図に並置するならば、右下がりの需要曲線と右上がりの（ 2 ）が交わる点を見出すことができる。この点を b 市場均衡 とよぶ。この点の水準にある価格を（ 3 ）とよぶ。

需要と供給のあいだに不一致がある場合でも、価格は常に（ 3 ）に調整される。市場における価格が（ 3 ）を上回る場合には（ 4 ）が生じ、財があまるため売り手は価格を下げざるを得ない。また、価格が（ 3 ）を下回る場合には（ 5 ）が生じ、財が不足して価格が高騰する。価格の自動調整機能を通じて需給が一致し、希少な資源が無駄なく配分されるのだが、こうした市場の働きを（ 6 ）とよぶ。

市場経済では（ 6 ）を通じて効率性が達成されるが、社会主義国などの（ 7 ）では（ 6 ）が働かず、非効率的であるとされる。しかし、市場経済でも効率性がうまく働かないこともある。例えば、（ 6 ）が働く条件として c 完全市場競争 が仮定されるが、市場は常に完全競争状態にあるとは限らない。また、価格の伸縮性が弱い場合、（ 6 ）がうまく働かず、価格の（ 8 ）を引き起こす場合もある。また、市場において競争が上手く働かない場合、 d 独占的な企業形態 が出現する場合もある。

問1 文中の（ 1 ）～（ 8 ）に当てはまる語句を語群から選び、答えなさい。

【語群】

好況	物価	均衡価格	下方硬直性	均衡財政
ラフター曲線	不況	需要喚起	競争経済	超過供給
期待価格	供給曲線	数量	非対称性	混合経済
市場価格	フィリップス曲線	市場メカニズム	供給喚起	金融緩和
超過需要	計画経済	人数	逆選択	定常状態

問2 下線部 a の需要曲線について、ある商品がテレビなどで紹介されて需要が増加した場合、また風評被害が生じて需要が減少した場合、需要曲線はどのように移動するか、答えなさい。

問3 下線部 b について、市場均衡の考え方によれば仮に「最低賃金」が設定された場合、需給にどのような影響を及ぼすと考えられるか、簡潔に答えなさい。

問4 下線部 c の完全市場競争について、これが上手く働かない場合、いわゆる「市場の失敗」を導くことがある。

市場の失敗の例としてあげられているものを、次のア～オから三つ選んで記号で答えなさい。

ア. 情報の非対称性 イ. 価格の非決定性 ウ. 非合理的な行動 エ. 公共財供給 オ. 経済外部性

問5 下線部 d の独占的な企業形態について、代表的な形態を三つ答えなさい。